

● チャリティーコンサート 熊本他九州地震及び東日本・関西大震災被害者への補助金提供公演 ●

● 日本国産ピアノ第一号を創作した方 山葉 寅楠(やまはとらくす)氏 没後100周年記念 ●

● あいちトリエンナーレ 2016 パートナーシップ事業 ●

ピアノと電子オルガンによる音楽会

プログラム

楽器紹介 ●ピアノの歴史としくみ／丸山 光(中部楽器技術専門学校講師)

楽器演奏 ●河合 毅彦(ピアノ)

ドビュッシー／ベルガマスク組曲より『月の光』他
プロコフィエフ／ピアノ・ソナタ第7番変ロ長調op.83

●内田 菜摘(電子オルガン)

チャイコフスキー／バレエ音楽「くるみ割り人形」op.71より『花のワルツ』
ドビュッシー／「映像」第1集より『水の反映』
内田菜摘／a・i・r

●ピアノと電子オルガンの共演(予定)

平成28年8月8日(月)

第1回 開演 14:00 (開場 13:30)

第2回 開演 18:30 (開場 18:00)

広小路ヤマハホール

〒460-8588 愛知県名古屋市中区錦1-18-28
ヤマハビル7階 TEL 052-201-5194

入場料 一般 2,000円(税込・全自由席)

学生 1,000円(税込・全自由席)

(小学3年生以上高校生まで)



虹のキャラヴァンサライ
あいちトリエンナーレ 2016
パートナーシップ事業

【入場券販売所】ヤマハプレイガイド ☎ 052-201-5152 / カワイ名古屋 ☎ 052-962-3939 / 芸文センター P G ☎ 052-972-0430
栄プレチケ92 ☎ 052-953-7777 / 中日サービスセンター ☎ 052-263-7282 / C B C ラヴァースショップ ☎ 052-242-1181
その他 名古屋市内他 各市町村プレイガイド他

【主催】山葉寅楠没後百周年記念公演制作実行委員会

【後援】名古屋市教育委員会 / ヤマハミュージックリテイリング 名古屋店 / 学校法人中部学園 中部楽器技術専門学校 / 東海山口県人会

【制作】特定非営利活動法人アートフィールド

【お問い合わせ】特定非営利活動法人(NPO)アートフィールド TEL 052-829-0693 / FAX 052-829-0694 / メール eddie_af@kir.biglobe.ne.jp

『人類と楽器～日本におけるピアノ』

荒木 芙美夫

楽器ピアノが日本国内に紹介されたのは、まだ19世紀前半江戸時代後半でした。その後、ほとんど全ての部分を自社で作上げた国産第一号は、山葉寅楠氏が、明治33年(1900)の創作です。彼の会社は、その頃日本楽器製造株式会社でした。彼は、それより様々なピアノ製作を行うと共に、電子楽器、管楽器他いろいろなものを製作し続けました。彼元で共に行ってきた方、秘蔵のお弟子さん河合小市氏が独立、昭和4年に設立したのが現・株式会社河合楽器製作所です。

上記 山葉氏が亡くなったのが、ちょうど百年前／1916年(大正5)8月8日でした。

楽器というものは人間が思い起こして製作するより前に他動物達は、腕や足を使って様々なものに刺激を与え音を出す事で、気持ちを表現／仲間への合図等を行ってきたものです。さらに人類は、後に様々な楽器を創作してきた事はご存じの通りです。その分け方も様々ありますが、「空気によって鳴らす楽器」「打って鳴らす楽器」「弦が張ってある楽器」その他というのが一つの分りやすい分類の一つです。ピアノは、三番目の「弦が～」の一つと言えます。

『本日の出演者』

講演 丸山 光(まるやま ひかり)中部楽器技術専門学校講師／一級ピアノ調律技能士

演奏 河合 毅彦(かわい たけひこ)ピアノ奏者

1959年愛知県出身。愛知教育大学音楽科入学後、東京大学に転じ、同大学文学部美学藝術学専修課程を卒業。在学中より東大ピアノの会に所属。JMLセミナー現代音楽演奏法講座及び平尾はるなピアノクリニックを修了。1997年現代音楽演奏コンクール「競楽Ⅲ」入選。これまで東京で4回、名古屋で8回のリサイタルを行い、名古屋市民芸術祭にも3回参加している。2003年ハンガリーの20世紀を代表する作曲家リゲティの生誕80年記念リサイタルは、新聞紙上でも高い評価を受ける。



2010年まで東海学園大学非常勤講師。2013年以降「杏の会」合唱団伴奏者。

内田 菜摘(うちだ なつみ)電子オルガン奏者

1992年山口県出身、名古屋音楽大学音楽学部電子オルガンコース卒業、同大学大学院音楽研究科作曲専攻(電子オルガン)在学中。大学主催演奏会、卒業演奏会に出演、独奏と共にオペラ、合唱の伴奏等活動を様々行っていますが、一般公演において自らが最も一生懸命学んできた電子オルガンの独奏をおおやけに行うのは、本日が初日です。



何より電子オルガンのために作品制作を様々行っています。各曲、電子オルガンの独自表現を表す内容をより良く表すよう励んでいます。